

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	はぐはぐキッズ洗足池
施設所在地	大田区上池台2-26-7
法人名	はぐはぐキッズ株式会社

1. 活動のテーマ

<テーマ>

はぐはぐワールドジャーニー ～多文化にふれよう～

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

【英語カリキュラムから広がる言葉への興味】

日頃の英語カリキュラムに積極的に参加する姿から、異なる言語や文化に対する関心が育ちつつあることを感じてきたため、その関心をさらに広げたいと考えた。

【世界の料理を通して芽生えた興味】

2024年度に食育の一環でおこなった「世界の料理」にふれる経験から、世界や外国について素朴な疑問や興味が自然と生まれていた。その姿を受け、世界の国々や文化について知る機会を深めたいと考えた。

2. 活動スケジュール

- ・各国について知る。
- ・各国の玩具や楽器にふれる。

10月 スペイン

12月 アメリカ

1月 ベトナム

3月 日本

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・講師を招き、交流する場を設けた。
- ・廊下に多文化コーナーをつくり、国の概要や特色の掲示や棚の設置をおこなった。
- ・棚には、その国の玩具や楽器を設置した。

スペイン:フラメンコカスタネット、積み木

アメリカ:チーズのバランスゲーム、ピザのままごと玩具

ベトナム:アオザイ、ノンラー

日本:畳、万華鏡、おとたま

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・講師や職員が、その国の言語や文化をこどもたちに伝える。
- ・廊下に多文化コーナーをつくり、その国の概要の掲示や玩具や楽器等の設置をおこなう。
- ・実際に楽器や玩具にふれられるようにし、体験によってその文化を感じられるようにする。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・講師や職員の発音を真似てみたり、気になることを積極的に尋ねたりしていた。
- ・多文化コーナーの掲示を保護者と一緒に見たり、玩具や楽器を手に取りこども同士や保育者と遊び方を試したりしていた。
- ・日本の四季についてのグループ活動では、友だちとイメージを共有しながら話し合い絵を描いていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

こどもたちの新しい言葉や文化に対して積極的に関わろうとする姿から、興味を持ったことに対して素直に向かっていく力が育っていることを感じた。設置した玩具や楽器で遊んだり、遊んだことを笑顔で保育者に伝えたりする様子から、実物に触れる体験が、理解や関心を深める大切なきっかけになっていることに改めて気づかされた。さらに、日本の音にふれた際には友だち同士で活動を深めていく姿があり、自分の感じたことを言葉にし友だちと伝えながら互いの考えを認め合っている様子が見られたことに探究活動の意義を感じた。また、世界に目を向けながら、自分たちの暮らす日本についても新たな視点で捉えていることに気づき、今後もこどもの興味や気づきに基づいた環境づくりや関わりを続けていきたいと思った。